

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 令和 6 年 10 月 1 日 (2024.10.1)

【国際公開番号】 WO2023/140040
 【出願番号】 特願 2023-575155 (P2023-575155)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/6561(2006.01)

C 0 7 F 9/6512(2006.01)

C 1 2 N 15/11(2006.01)

10

【F I】

C 0 7 F 9/6561 Z C S P

C 0 7 F 9/6512 Z N A

C 1 2 N 15/11 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 6 月 6 日 (2024.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

20

【補正方法】 変更

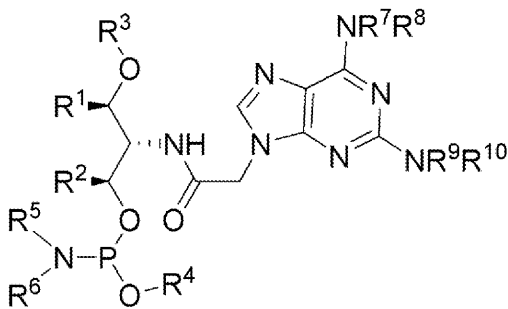
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

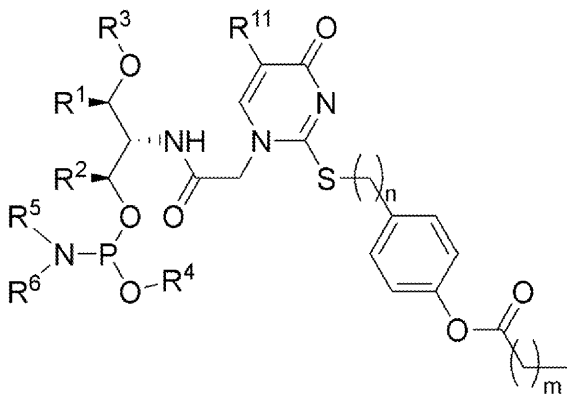
一般式 (1A) 又は (1B) :

【化 1】



(1A)、又は

30



(1B)

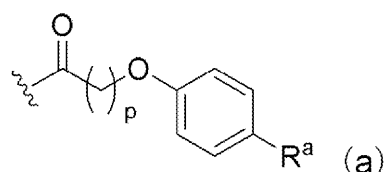
40

【式中：R¹及びR²は同一又は異なって水素原子又は有機基を示す。R³及びR⁴は同一又は異なって水酸基の保護基を示す。R⁵及びR⁶は同一又は異なってアルキル基を示す。R⁷、R⁸、R⁹、及びR¹⁰は同一又は異なって水素原子又は塩基で除去可能な保護基を示し（但し、全てが水素原子である場合を除く）、前記塩基で除去可能な保護基の少なくとも1

50

つが一般式 (a) :

【化 2】



(式中： R^a は水素原子又はアルキル基を示す。 p は1～3の整数を示す。)

で表される基を示す。 R^{11} は水素原子又はアルキル基を示す。 n は1～3の整数を示す。 m は0～3の整数を示す。]

10

で表される化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物。

【請求項 2】

前記 R^7 及び前記 R^8 の少なくとも1つが一般式 (a) で表される基であり、且つ前記 R^9 及び前記 R^{10} の少なくとも1つが一般式 (a) で表される基である、請求項 1 に記載の化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物。

【請求項 3】

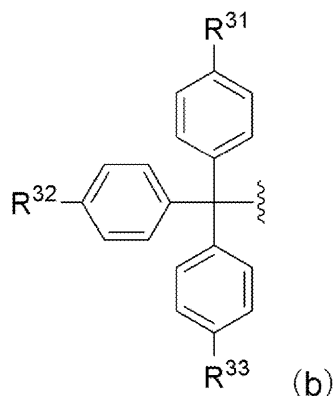
前記 n が1であり、前記 m が0であり、前記 R^a が水素原子であり、且つ前記 p が1である、請求項 1 に記載の化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物。

【請求項 4】

20

前記 R^3 が一般式 (b) :

【化 3】



30

[式中： R^{31} 、 R^{32} 及び R^{33} は同一又は異なって水素原子又はアルコキシ基を示す。] で表される基であり、前記 R^4 が $-(CH_2)_2-CN$ であり、前記 R^5 及び前記 R^6 がイソプロピル基である、請求項 1 に記載の化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれかに記載の化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物を含む、試薬。

【請求項 6】

40

ポリヌクレオチド製造用試薬である、請求項 5 に記載の試薬。

【請求項 7】

請求項 1～4 のいずれかに記載の化合物若しくはその塩又はそれらの溶媒和物をアミダイトモノマーとして使用する、一本鎖ポリヌクレオチドのホスホロアミダイト法による製造方法。

50